

I 日比谷図書文化館 紹介

I-1 沿革

- 明治 41 年 11 月
(1908) 東京市立日比谷図書館開館
初代館長 渡辺又次郎
木造建築で階下はヌーボ式、階上はコリント式で当時の東京 100 建築の一つに加えられた。
「通俗図書館」として、市民の誰もが利用できる図書館をめざす。
閲覧は有料
- 大正 4 年 4 月
(1915) 今沢慈海 館頭を命ぜられる。
開館時から日比谷図書館に勤務、昭和 6 年までの 16 年間、館頭として市立図書館のみならず、全国の図書館をリードする活動を行った。
- 大正 12 年 9 月
(1923) 関東大震災
閲覧室その他が破損したが倒壊を免れる。11 月 1 日より平常通り開館。
- 昭和 2 年
(1927) 蔵書 10 万冊となる。
- 昭和 13 年 7 月
(1943) 都制施行、都立図書館となる。
- 昭和 19 年
(1944) 資料の疎開と戦時買い上げ
戦時中、40 万点に及ぶ資料を多西村（現在のあきる野市、志木市）に疎開。さらに、愛書家や学者の貴重な蔵書の消失を避けるため、臨時予算により図書の買い上げを行う。
- 昭和 20 年 5 月
(1945) 8 月 空襲により焼失 被害蔵書 209,040 冊
終戦
- 昭和 24 年 11 月
(1949) 京橋仮館舎にて閲覧再開
- 昭和 26 年 3 月
(1951) 土岐善麿 館長就任
歌人で文学博士。幾多の困難の中、日比谷図書館新館の再建を進めた。
- 昭和 30 年 2 月
(1955) 養正館へ移転。新しい日比谷図書館が完成するまで（昭和 32 年）、港区麻布の有栖川養正館に間借りしてサービスを継続。
- 昭和 30 年 3 月
(1955) 改築起工式

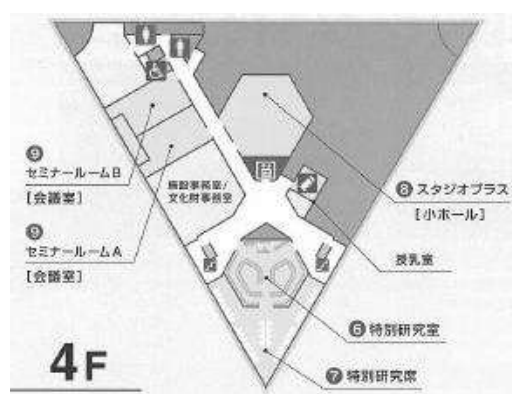
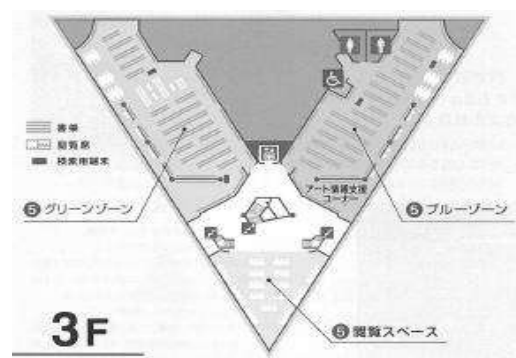
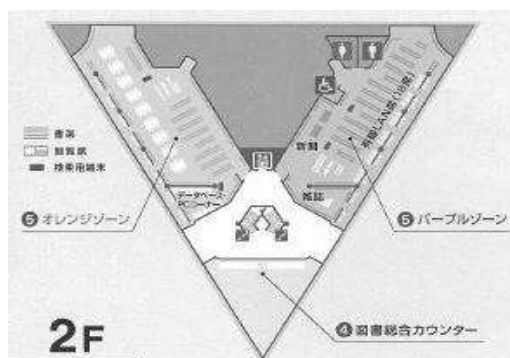
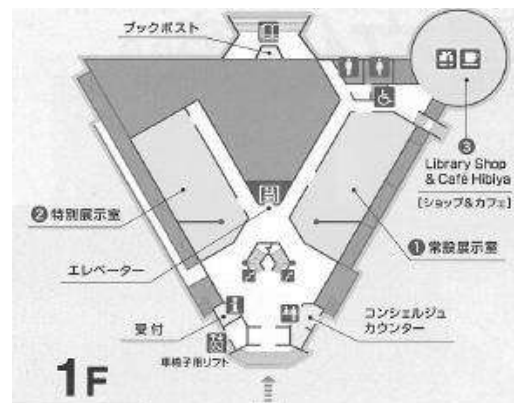
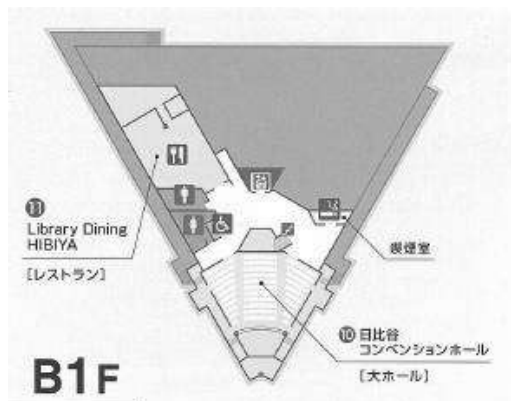
| | |
|--------------------------------|---|
| 昭和 32 年 10 月 (1957) | 新館落成開館 三角形の珍しい建物に近代的な図書館としての施設、設備を整えて開館。 |
| 昭和 36 年 (1961) | 4 階増築、開館 |
| 昭和 45 年 4 月 (1970) 10 月 | 視覚障害者サービス開始 協力車による協力貸出事業開始 |
| 昭和 48 年 1 月 (1973) 10 月 | 都立中央図書館開館 児童資料室・こども室開室 |
| 昭和 62 年 5 月 (1987) | 都立多摩図書館開館 |
| 平成 8 年 5 月 (1996) | 都立中央図書館改修工事完了 |
| 平成 14 年 5 月 (2002) | 児童資料サービスが多摩図書館に移管 |
| 平成 20 年 10 月 (2008) 11 月 | 日比谷図書館、千代田区移管について合意 都立図書館開館 100 周年 |
| 平成 21 年 1 月 (2009) 3 月 31 日 | 都立中央図書館 リニューアルオープン 都立日比谷図書館 閉館 |
| | 7 月 千代田区に移管 |
| 平成 23 年 11 月 4 日 (2011) | 千代田区立日比谷図書文化館 開館 |

《参考文献》

- 東京都立図書館, 「東京都立図書館 100 周年記念」, 東京都立図書館, 2008. 11
大串夏身, 「日比谷図書館関係略年表」, 大串夏身, 2011. 11

I-2. 施設の概要

| | |
|-------|--------------------------------|
| 所在地 | 千代田区日比谷公園 1-4 |
| 電話 | 03-3502-3340・3343 |
| 建設年月日 | 昭和 32 年 10 月（平成 23 年 11 月新規開館） |
| 建築構造 | 鉄筋コンクリート造り |
| | 地上 4 階 地下 1 階（図書フロア 2 階、3 階） |
| 床面積 | 9,665.09 m ² |
| 閲覧席数 | 閲覧席 318 席 |



《館内フロアマップ》